2007年01月13日 読売大阪 朝刊 広島 12版 27頁

作品に見入る親子連れ（広島市中区の県立美術館で）

員の首や肩、腰などの痛みを調べる健康診断用で、氏名や過去3年分の診断結果などが記されていた。

同センターによると、今月9日夕、センター職員が個人票を入れた封筒をワゴン車内に置いたままセンターの車庫に止めていたところ、10日朝、封筒ごとなくなっているのに気づいたという。同センターは広島中央署に紛失届を出し、被害者に謝罪している。

郷土力士星取表

6日目

【三段目】
大和富士（東 51 広
【序二段】
尾ノ勝（東 48 広
丸輪留桜（東 49 広
寺西 54 広
月西 87 広
正西 100 広
北東
河
【序ノ口】
吉田山 17 広
大広星 28 広

絵本原画展、あすまで

県立美術館

広島市中区の県立美術館で開かれている「世界の絵本がやってきた プラティスラヴァ世界絵本原画展」（県立美術館、読売新聞大阪本社、広島テレビ、美術館連絡協議会、日本国際児童図書評議会主催）が14日、閉幕する。12日も多くの家族連れらが訪れ、絵本の原画を熱心に眺めていた。

同展は、スロバキアの首都プラティスラヴァで2年ごとに行われている絵本原画展の受賞作品など計約300点を紹介。絵本も展示しており、原画と見比べたり、絵本のページをめくったり出来るのが好評。角田新主任学芸員は「ゆっくり絵本を読むこともできるので、幅広い年代の人に喜んでもらっています」と話す。

広島市西区の保育士味園恭子さん(34)は「子どもと一緒に楽しむことができるのがいいですね」と、長女朱莉ちゃん(1)に絵本を読み聞かせていた。